

ウィスキー、ワイン、清酒、その他酒類、お茶、糖液の清澄ろ過

デプスシートモジュール スープレパック

大量処理用途向けコンパクトデザインで低ランニングコストに貢献

1 食品産業におけるデプスシートとフィルターシステムの活用

清澄ろ過や仕上げろ過用途を中心に、デプスシートは様々な食品産業分野で長年使用されてきました。用途や目的、工程に応じた幅広い要求に応えることができ、安定したろ過が実現できるというメリットがあるからです。珪藻土、セルロース、パーライトといったろ過助剤を基本原料とし、原材料の選定と配合比率を変えることにより、ろ過精度も多様なグレードがそろっています。

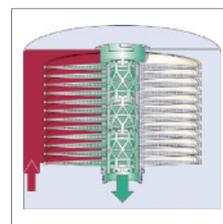


デプスシートは、歴史的には、フィルタープレスに装着使用されてきました。フィルターシステムにおいては、下記のような課題がありました。

- デプスシートを1枚ずつ装着するため、セッティングに時間を要する。
- 大気に露出するオープンシステムであるため、衛生上の管理が難しい。
- ドリップロスと呼ばれる、装着したシート端面からの欠減が発生する。



近年になり、モジュール構造の製品も開発され、密閉式のハウジングに収納使用するクローズドシステムに変わることによって問題は解決されてきています。しかしながら、大量処理用途に対しては、モジュールの1個当たりのろ過面積が小さく、使用量、交換頻度が多くなり、コストや生産性の面で、問題を抱えてきました。

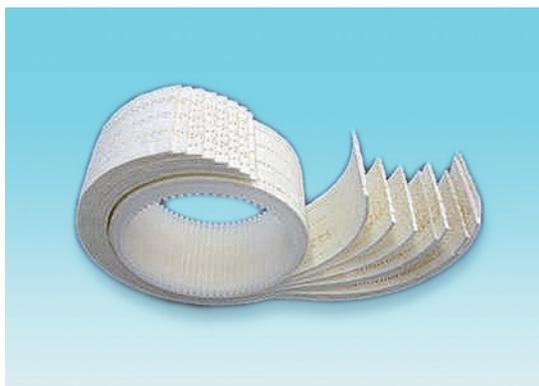


スタック式ディスクカートリッジ



2 エッジフロー流量制御技術によるロール成形シートの次世代モジュール

コンパクトなデザイン、衛生的で歩留りが良く、取扱いも容易というモジュール構造の利点を生かしつつ、大量処理用途での課題を解決するため、ろ過面積を大幅に増やした新製品“スープレパック”を開発しました。



ロール成形シート



ウイスキー、ワイン、清酒、その他酒類、お茶、糖液の清澄ろ過

デプシートモジュール スーブラパック

デプシートを多層に収納してきた従来のモジュールタイプの製品とは異なり、ロール上に成形することで、シートの使用量を大幅に増やしました。エッジフローと呼ばれるパール独自の流量制御技術の採用により、デプシートが本来持っているろ過性能を最大限に引き出すことができ、高いろ過特性とロングライフを実現しています。大量処理用途に特化した次世代モジュールで、低ランニングコストと生産性の向上に貢献します。

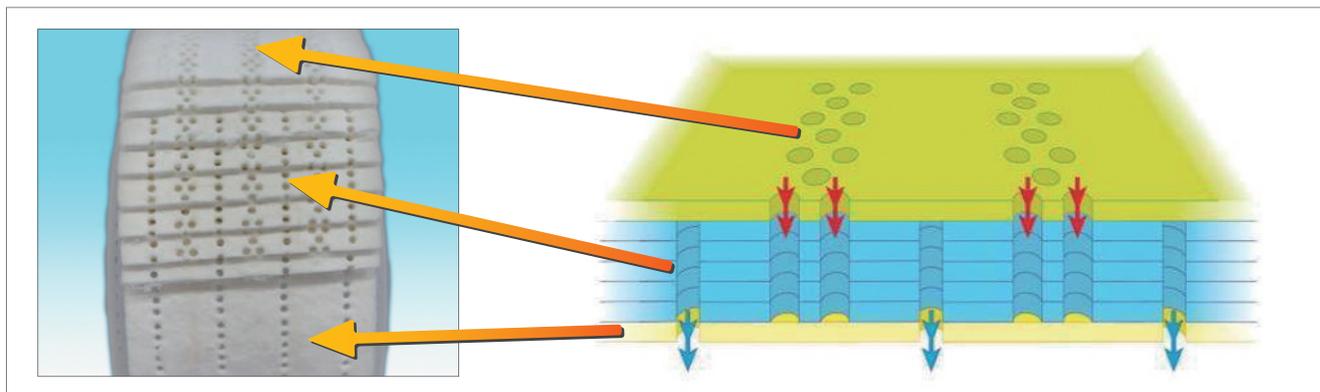


図1: エッジフローの流路構造

3 スーブラパック製品のラインアップ

通常のシートや従来のモジュールと同様、各種グレードを取り揃えています。専用ハウジングも最大6段積みまで標準化されており、大流量処理に対応できます。また、サイズもM、Lサイズの他、主にろ過テスト用のSサイズもあります。多品種のラインアップがありますので、バッチ量の小さな製品にも対応可能です。



モジュールサイズ	外径 (mm)	高さ (mm)	ろ過面積 (m ²)
S	183	250	0.4
M	285	250	2.7
L	415	250	8

4 ろ過評価試験

製品導入の際は、適正なグレードの選定と、サイジングのために、Sサイズハウジングを使用したろ過評価試験を推奨しています。お客様の用途や仕様にあわせて、最適な製品を選定いたしますので、詳しくは当社担当営業までお問い合わせください。



Sサイズハウジング



Mサイズハウジング



Lサイズハウジング

お問い合わせ

詳しい内容につきましてご質問がありましたら、下記までお問い合わせください。

【食品事業部】 TEL.03-6901-5760